科目名	会計学Ⅱ　Accounting II						
科目担当者	出山 実　IDEYAMA Minoru						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 法学部・法律学科［専門教育科目　関連科目］					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	会計学は、情報、語学（英語）と並んで、ビジネスの三種の神器と位置付けられています。共にビジネスパーソンに欠かせない基本知識ですが、中でも企業会計は現在大きな変換点にあり、表面的な動向だけでなく、理論的な深い学習をしなければなりません。そのためには、 会計数値が持つ意味を１つ１つ読み解いていくとともに、背景にある理論や考え方を理解することが重要になります。 本講義では、会計学の基礎的な理論（貸借対照表を中心に）を学習します。 講義の進め方は、テキストに基づいて、講義を中心に進めていきます。必要に応じて、レジュメを配布します。						
授業の到達目標	①ビジネスの必須知識である会計学の基本構造（貸借対照表を中心に）を理解する。 ②今後の会計上級科目への知識基盤を作る。						
授業計画・内容	1	オリエンテーション：現代会計の考え方					
	2	固定資産と減価償却＜１＞取得原価と減価配分（減価償却）					
	3	固定資産と減価償却＜２＞減損会計					
	4	繰延資産の会計					
	5	金融活動の資産と損益＜１＞有価証券の取得と売却					
	6	金融活動の資産と損益＜２＞有価証券の期末評価					
	7	営業上の負債と他人資本＜１＞借入金、社債の発行と償還					
	8	営業上の負債と他人資本＜２＞転換社債と新株予約権付社債					
	9	営業上の負債と他人資本＜３＞引当金の処理					
	10	資本の充実と剰余金の分配 資本金と資本剰余金					
	11	財務諸表の作成と報告＜１＞法定された会計報告書					
	12	財務諸表の作成と報告＜２＞損益計算書、貸借対照表、注記					
	13	連結財務諸表＜１＞企業集団の財務報告					
	14	連結財務諸表＜２＞連結損益計算書、連結貸借対照表					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	毎回、テキストの対象範囲を読んでくること（1 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	講義に関する新聞記事等を提示するので、要約してくること（3 時間程度）						
成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法			評価比率		到達目標との対応	
	定期試験 課題の提出			90% 10%		①② ①②	
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	桜井久勝『会計学入門 第 5 版』日本経済新聞社						
参考文献							
その他	＜どのような学生の受講が望ましいか＞ ・会計の分野に興味がある学生 ・基礎的な会計知識を身につけたい学生 ・将来、経理・財務担当者、銀行員、商業科の教員になりたい学生 ＜あらかじめ受講して欲しい科目＞ なし ＜併行して受講して欲しい科目＞ 簿記論（or 上級簿記）						